



スクリーンから飛び出さんばかりの
迫力あるグラビア。

復刻版

大判誌の『月刊映画』は「見て楽しむ画報」として、
他の映画誌よりグラビア性により優位な存在だった。

- 特徴**
- 東洋唯一の「最高級映画専門画報」を自賛していた。
 - 「洋画」と「邦画」を左右両面からのW表紙とした誌面構成。
 - 充実のカラーグラビアで舞台や映画を伝えた。
 - 当時人気を博したスターのポートレートが掲載。

セット販売価格 **¥176,000**を創業1周年特価として、
約15%OFFの¥150,000(税別)にて
ご提供いたします。※2026年3月末までお申し込みの場合に限ります。



か
か
し

合同会社 かかし

107-0062

東京都港区南青山 2-2-15

winAoyamaビル UCF6F

tel:03-6403-5803

contact@kakashi-ebook.co.jp

<https://kakashi-ebook2024.net>

プラットフォーム

 **Kinoden**
Kinokuniya Digital Library

 **紀伊國屋書店**

デジタル情報営業部

ict_ebook@kinokuniya.co.jp

Tel : 03-6910-0518 Fax : 03-6420-1359

東京都目黒区下目黒 3-7-10 153-8504



電子書籍

復刻版

映画雑誌 SCREEN PIONEER

●創刊の辞 ●「現在映画雑誌として発行せられてゐるもののは實に晴夜の星の如く、そして孰れもそれぞれに燐然と光を放つてあります。惜むらくは大抵菊版、四六判等で小型に失し、見て楽しむ画報としては此か見栄えのしない憾みがあります。猶又大判のものとしましては、悉く演芸物などと混淆して編集されてをりますので、これ亦映画ファン諸君の充分なる満足を贏ち得ることが出来ない」という點に深く鑑みまして、それ等の缺點を補い、ファン諸君の十二分の御満悦を得るやうに精々努力したつもりでござります。」

※一部抜粋

解説 ●西村安弘
東京工芸大学 芸術学部 映像学科 教授

発行社は大正通信社。

[概要]
A4版。約50頁(記事頁は8頁ほど、ほかは時グラビア頁)。
1925(大正14)年10月1日創刊号 1巻1号~1928(昭和3)年8月1日終刊号
4巻8号までの34冊を全て復刻。全1回配信。(※4巻4号は刊行不明)

[お奨め対象]
映画史、映像メディア史、日本文化史、
表象文化史、芸能史、社会文化史、
大衆史、風俗史、近代史などの研究者
大学図書館・公共図書館

●同時アクセス数3の価格

●①・②分売可

配信回数	巻数	掲載号	発行年月日	分売	分売価格(税別)	セット販売価格(税別)
全1回	第1巻	1巻1号~2巻6号	1925年10月1日~1926年6月1日	①	¥99,000	¥176,000
	第2巻	2巻7号~3巻3号	1926年7月1日~1927年3月1日			
	第3巻	3巻4号~3巻11号	1927年4月1日~1927年11月1日	②	¥99,000	2026年3月末まで 特価¥150,000
	第4巻	3巻12号~4巻8号	1927年12月1日~1928年8月1日			

※販売対象機関:全機関

戦前戦中期 映画関連復刻版「新映画」「映画之友」「演芸と映画」電子書籍にて、続々刊行。